

アンケート調査でのご要望におこたえます（3）

（◇：利用者の方からのご要望、⇒：センターの対応・考え）

視覚障がいの方からのご要望

◇視力障がい者用パソコンについて

1. 介護保険のケアマネージャー的な人を置いて欲しい。
2. ボランティアを増やして欲しい。
3. 利用者個人が作ったカリキュラムで講習会を開催して欲しい。
4. 命の電話のようないつでも気軽に応じてくれる電話。

⇒パソコン利用の個別訓練や電話相談などは行っていますが、人材に限られているため、十分な対応ができていないのが実情です。視覚障がい者の皆さんのIT利用を進めていく上で、人材不足が一つのネックになっており、残念に思っています。まず1人でも多くの職員が視覚障がいのパソコン利用技術を習得し、さらにこれをボランティアの皆さんに広げていく必要があると考えています。これはすぐにはできませんが、職員一同、努力してまいりますので、今しばらくのご辛抱とご理解をお願い申し上げます。

◇視力障がい者が団体にハイキング等外出する時、手引きのボランティアを紹介していただきたい。

◇ボランティアをされる人の情報が知りたいです。出かける際、気軽に同行をたのめる人がいると助かるので。

⇒市町の社会福祉協議会で手引きのボランティアを紹介しているところがありますので、お住まいの市又は町の社会福祉協議会に問い合わせてみられたらいかがでしょうか。

◇購入した商品の取扱説明書を録音していただきたい。

⇒行いますので、その旨を申し出ていただいた上で、取扱説明書をセンターにお送りください。

◇情報機器やその他の盲人生活用具の早期紹介、取り扱いの説明など、不十分。

⇒誠に申し訳ありません。できる限り早期紹介、十分な説明ができるよう努めてまいります。

◇生涯教育やレクリエーション的な講座の開催。軽スポーツやカードゲーム等の交流会。

⇒生涯教育やレクリエーション的な講座の開催は、点字図書館事業の業務量の推移を見ながら、内容のご希望も伺った上で、ある程度の参加が得られるようなら行いたいと考えています。軽スポーツやカードゲーム等の交流会につきましては、「利用者とボランティアのつどい」において、可能なものを取り入れていきたいと考えています。

◇目の不自由な高齢者でも利用できる“ラジオ”があれば良いと思う。目の不自由な高齢者が使える日常生活用具等提示して頂きたい。

⇒近年、ワンセグラジオ、地デジラジオ等の名称で、AM・FMラジオに加えテレビの音声も聞けるラジオが販売されています。最近では、操作が少なく簡単で、操作内容の音声ガイドと放送局名の読み上げ機能があり、価格も1万円以内のものが発売されています。視覚障がい者用の日常生活用具等につきましては、当センターにさまざまな種類の製品を展示していますし、この広報紙でも毎回紹介していますが、特に電気製品の開発は日進月歩ですので、電気店や当センターにご相談いただくことをお勧めします。

◇いろいろな制度があるようですが、私はあまり知りません。たとえば、ガイドヘルパーさんや生活でのヘルパーさん、どのようなことをしていただけるのでしょうか。

◇いろいろサービスについて、知らない事がたくさんあるようですが、こういうサービスがあるとか、文章で定期的に知らせいただくと助かるのですが、何でも相談出来る所があるといいですね。

⇒福祉制度については、内容が多岐にわたり、しかも自治体によって取り扱いが異なる点もありますので、紙幅の限られるこの広報紙ですべてをご紹介することは困難ですが、障がい福祉制度の変更があった場合など、できる限りお知らせするよう努めてまいります。また、当センターでは視聴覚障がい関連の障がい福祉制度を中心として制度の相談に応じていますが、各市町の福祉担当窓口や社会福祉協議会では、各種の福祉制度の相談に応じています。その説明や利用案内のための冊子を作っているところも多いですので、問い合わせてもらってはいかがでしょうか。この冊子の点訳や音訳が必要でしたら、当センターで行いますのでお申し出ください。

聴覚障がいの利用者の方からのご要望

◇中継サービスについてスカイプ等を利用した電話通訳をできると良いと思う。

⇒技術的、経費的には可能だと思われませんが、主に2つの課題があると考えています。一つは、民間事業者が有料で同様なサービスを提供していますので、当センターが公費を使って無料で行う理由や有料サービスとの違いを明確にする必要があると思います。当センターは、営利行為を行うことができませんので、行うとしたら無料の公共サービスになります。公共サービスは、民間では供給されない、あるいは供給されていても不十分な場合に、これを補うために提供されるのが原則ですので、この点について、県と協議しています。もう一つの課題は、職員が対応できるかどうかということです。当センターで手話通訳ができる職員は1人で、他の用務も抱えていますので、当センターだけで対応するのは難しいと思います。この点については、松江の聴覚障害者情報センターと共同で行うのが現実的ではないかと考え、同センターに検討をお願いしています。いずれもまだ結論が出ていませんので、経過報告となりますことをご了解ください。

参考までに、県の取り組みですが、県庁へお越しの聴覚に障がいのある方を適切にご案内するため、受付にテレビ電話を設置し、聴覚障害者情報センターと回線を結び手話通訳を行っています。